毎日を笑顔で過ごせるように願いを込めて……

2026年3月号

ありかわ喜石材新聞

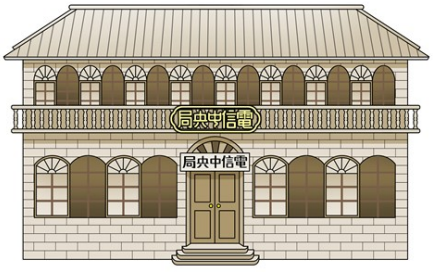
少しずつ春の気配が感じられるようになってまいりました。先月の寒い日、家族で買物のついでに三男坊と二人でお墓参りに行きました。最近はチョコチョコ走り回るため目を離せませんが、墓所へ着くと自ら柄杓と手桶を持って準備。兄貴達をよく見てるんだな～と感心しながらも、水を汲みに行くと墓所を抜け出し暴走！

あっちこっち脱線しながらも無事先祖のお墓へ帰還。休む暇もなく水を掛けたいところへと抱きかかえ半分水遊び終了！！家族全員分の線香を立て、二人で手を合わせてきました。もう少し大きくなったら、戒名塔を見ながら先祖のお話をしてあげようと思います。なかなか定期的にお墓参りに行くことができていませんが、ふと気になった時、話を聞いてもらいたい時など、これからもわがままお墓参りに行きたいと思いました。

知っていますか？ 3月の記念日

●3月25日は「電気記念日」です

1878年（明治11年）のこの日に、電信中央局が開設されたことを受けて開局祝賀会が開催され、会場で電気灯が灯されました。このとき50個のアーク灯が点灯され、これが日本で初めて公の場で点灯された電灯でした。後の昭和2年に開催された日本電気協会の総会で、日本の電気事業の発祥を記念して、この日を電気記念日と制定しました。



■発行者：有川喜（ありかわき）石材店

有川 佑樹 （ありかわ ゆうき）

昭和57年6月 下五島生まれ。
家族は妻、長男（高1）、次男（小6）、三男（2歳）の5人家族、両親も健在。
父（社長）のもと仕事をしています。
（一社）全国優良石材店の会 認定店。
（一社）日本石材産業協会
長崎支部所属

海陽高（旧五島商）時代はサッカー部、ディフェンス担当でした。最近は地元ソフトボールチームで汗を流しています。仕事と同じくらい釣り好きです！！

（有）有川喜石材店 TEL：0959-72-2457
長崎県五島市三尾野3-6-1

※仏事クイズの答え：②　※まちがいさがしの答え：1）猫のヒゲ　2）チーズ　3）「な」の書体

～お墓・仏事のミニ知識～

★日本のお墓参りはいつから始まった？

日本の「お墓参り」はいつから始まったのでしょうか？日本では、縄文時代には既に埋葬の習慣があったことが確認されています。縄文時代の遺跡である青森市の三内丸山遺跡では、死者を大切に埋葬していたこと、お供えをしていた可能性があることが分かっており、これは「お墓参り」の原型と言えるかもしれません。

その後は、古墳のように権力者たちだけがお墓を造っていた時代がありました。時が流れて江戸時代後期になると、庶民もお墓が建てられるようになり、明治以降は家単位でお墓を建てることも増えました。ご先祖様や亡くなった家族を思い、供養するという現代のお墓参りの習慣は、お墓そのものの変遷と共に生まれ、変化してきています。

仏事クイズ Q&A

知っているようで知らない仏事のことや言葉の意味をクイズで確かめてみましょう。

Q 学問の神様として知られる菅原道真は雷神（天神）としても祀られてきましたが、農民たちから「めぐみの神」として崇められた理由は次のうちどれでしょう？

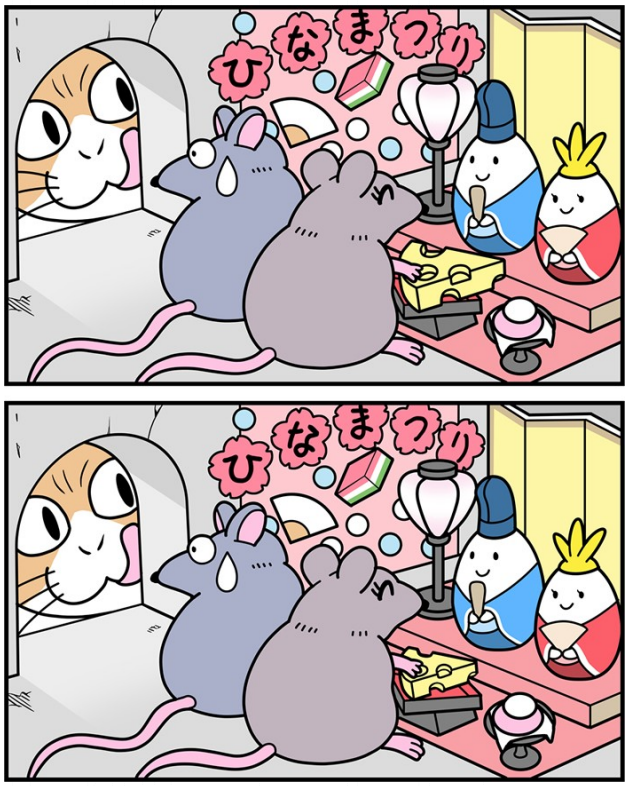
① 晴天をもたらすと信じられたから

② 雨をもたらすと信じられたから

③ 農具の発明者だったから

ヒント 雷が鳴ると、そろそろ・・・

まちがいさがし



上下の絵に間違いが3個あります。探してみましょう。

※クイズとまちがいさがしの正解は、表面の一番下の部分をご覧ください。

ご縁を大切にしたいとの想いで、発行しています。